

このたびは、シチズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

シチズンのホームページ(<http://citizen.jp/>)でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。
この番号を「側番号」といいます。側番号の先頭の4ケタが機種番号になります。
図では「1234」が機種番号です。

＜刻印の位置の例＞






時計によって表示位置は異なります。



安全にお使いいただくために— 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

＜保護シールについて＞

時計には工場出荷から販売店までのキズ防止のために、ガラス、裏ぶた、金属バンド、中留めの金属部分に保護シールをつけて出荷しているものがあります。

このシールをつけたまま使用されますと、シールのすき間に汗や水分が入り込んで、汚れによるかぶれや金属部分の腐食の原因となることがあります。
必ずシールをはがしてご使用ください。

＜金属バンド等の調整について＞

お客様ご自身で、バンド調整は行わないでください。
落下による時計の破損や、バンド調整時に工具等によるケガにつながる可能性があります。
お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口で承っております。
また、上記以外では、有料もしくは取り扱っていただけない場合があります。

目 次

1. 商品の特長	6
2. ご使用になる前に	7
3. 各部の名称と主な機能	10
4. モード(表示機能)の切り替え方	14
5. 各針の0位置確認	16
6. 世界各都市の時刻またはカレンダーの呼び出し方	20
7. アナログ時刻とデジタル時刻の切り替え方	22
8. 時刻の合わせ方	24
9. カレンダーの合わせ方	27
10. アラームモードの使い方	30
11. クロノグラフの使い方	34
12. タイマーの使い方	36
13. ゾーンセットの使い方	38
14. オールリセットについて	45

15. エコ・ドライブ(光発電)ウォッチ特有の機能について	48
・充電警告機能	50
・時刻合わせ告知機能 (CAL. C650 のみ)	53
・過充電防止機能	56
・パワーセーブー 1	57
・パワーセーブー 2	59
・マニュアルパワーセーブ	60
・充電量表示	63
16. 充電時間の目安	65
17. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意	66
18. レジスターリングの使い方	68
19. お取り扱いにあたって	74
20. 保証とアフターサービスについて	82
21. 製品仕様	84
22. お問い合わせ窓口	86

1. 商品の特長

この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して、時計の針やアラーム、クロノグラフ、タイマー等の多機能を作動させるコンビネーションエコ・ドライブ(光発電)ウォッチです。

ソーラーセルに光が当たっていないときの消費電流を抑える3種類の「パワーセーブ」や、二次電池がどのくらい充電されているか目安がわかる「充電量表示」等、便利な機能が搭載されています。

2. ご使用になる前に

充電について

この時計はエコ・ドライブ(光発電)ウォッチです。ご使用になる前には、十分に光を当てて充電してからご使用ください。
マニュアルパワーセーブが作動中は、マニュアルパワーセーブを解除してから行ってください。

この時計には、電気エネルギーを蓄えるために二次電池が使われています。この二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。

一度フル充電すると最長4年間(パワーセーブー2作動時)は充電しなくても時計は動き続けます。

この時計の上手な使い方

快適にご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計は、どんなに充電しても過充電の心配はありません。
(過充電防止機能つき)

毎日、充電を心がけてご使用されることをおすすめいたします。

りゅうずについて

モデルによって、りゅうずがねじロック式の場合があります。操作しないときにりゅうずをロックすることで、誤操作を防ぐことができます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

※ねじロック式ではない場合は、ロック／ロック解除をすることなくお使いいただけます。

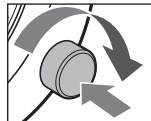
操作する前に



りゅうずのロック
を解除する
りゅうずを左に
まわす。

ロックが解除されると、りゅうずが
せり出し、通常位置になります。

操作後は



りゅうずをロック
する
りゅうずを押し込
みながら右にまわ
して締める。

3. 各部の名称と主な機能

名称/モード	時 刻	カレンダー	アラームー 1	アラームー 2
① モード針	TME	CAL	AL — 1	AL — 2
② 時針	常に「時」を表示			
③ 分針	常に「分」を表示			
④ 秒針	常に「秒」を表示			
⑤ 24時間針	常に時、分に連動して「24時間制」表示			
⑥ UTC時針	常に「UTC時」を表示			
⑦ UTC分針	常に「UTC分」を表示			
⑧ デジタル表示ー1	時、分、秒、A/P、 SMT(サマータイム 設定時)	月、日、曜 SMT(サマータイム 設定時)	時、分、A/P、 アラーム(ON/OF)	
⑨ デジタル表示ー2	都市名			
	充電量表示			

アラームー 3	クロノグラフ	タイマー	ゾーンセット
AL — 3	CHR	TMR	SET
常に「時」を表示			
常に「分」を表示			
常に「秒」を表示			
常に時、分に連動して「24時間制」表示			
常に「UTC時」を表示			
常に「UTC分」を表示			
時、分、A/P アラーム(ON/OFF)	計測時間 (秒、分、1/100秒)	残時間表示 (分、秒)	都市名「SET/OFF」 SMT「ON/OFF」
都市名	計測時間(時)	セット時間(分)	都市名
充電量表示			

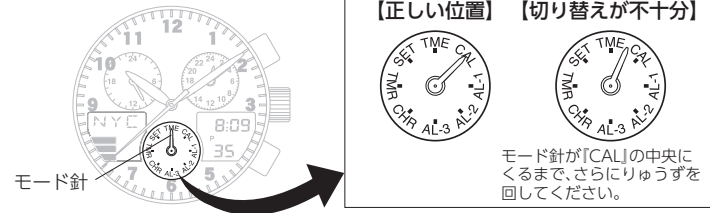
名 称/ モード	りゅうず 位 置	時刻	カレンダー	アラームー 1	アラームー 2
⑩りゅうず	通常位置	モード切り替え			
	1段	—————			
	2段	時刻修正	カレンダー修正	アラーム時刻修正	
Ⓐボタン	通常位置	都市切り替え			
	1段	—————		アラーム「ON/OF」 切り替え	
	2段	SMT「ON/OF」切り替え 「秒」修正、 「24時間制」切り替え	—————	アラーム「ON/OF」 切り替え	
Ⓑボタン	通常位置	都市切り替え			
	1段	—————			
	2段	修正箇所切り替え			

アラームー 3	クロノグラフ	タイマー	ゾーンセット
モード切り替え			
—————			都市切り替え
アラーム時刻修正	0位置合わせ	セット時間修正	都市名、時差設定
都市切り替え	スプリット、リセット	リセット	都市切り替え
アラーム「ON/OF」切り替え	—————		SMT「ON/OF」切り替え
アラーム「ON/OF」切り替え	—————		
都市切り替え	スタート/ストップ		都市切り替え
—————			都市名「SET/OFF」切り替え
修正箇所切り替え		—————	修正箇所切り替え

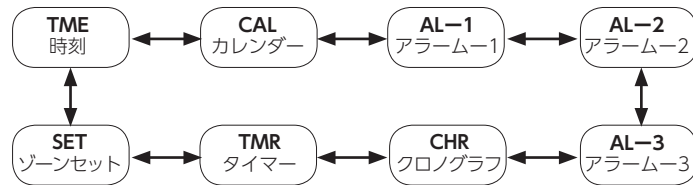
4. モード(表示機能)の切り替え方

この時計は、時刻、カレンダーの他に、3種類のアラームやクロノグラフ、タイマーなどのモードを搭載しています。リ्यूズを通常位置①で左右どちらかに回転させるとモードが切り替わります。モード針で現在のモードを確認してください。

- モードを切り替える際は、モード針が文字の中央を指すまで確実にリ्यूズを回転させてください。



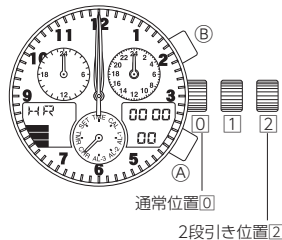
〈モードの切り替わり〉



5. 各針の0位置確認

ご使用になる前に、この時計の機能を正しく作動させるために、0位置(各針の基準位置)が正しく設定されているか、次の方法で確認してください。

〈0位置確認〉



1. 通常位置①でリゅうずを回転させ、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. リゅうずを2段引き位置②(0位置修正位置)にします。
 - ・秒針、分針、時針、24時間針、UTC時針、UTC分針が早送りで0位置(12時位置)へ移動します。

注意

- ・各針が0位置にない場合は、"0位置修正"を行ってください。この0位置がずれていると、時刻が正しく表示しません。

〈0位置修正(時計基準位置設定)〉… 0位置がずれているときのセット方法

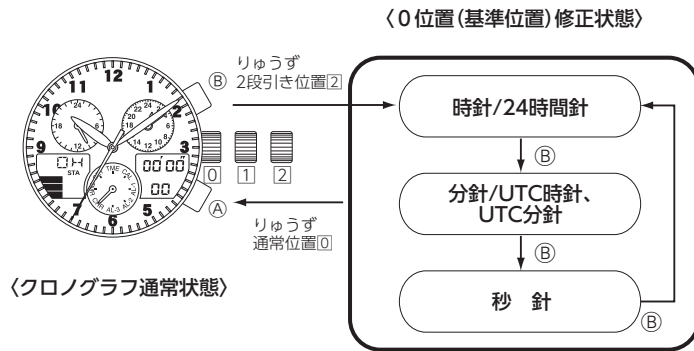
各針の0位置を合わせる際は、必ずリゅうずを正転(時計回り)させ、各針を時計回りで0位置に合わせてください。

1. 通常位置①でリゅうずを回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. リゅうずを2段引き位置②(0位置修正位置)にします。
 - ・秒針、分針、時針、24時間針、UTC時針、UTC分針が記憶している位置へ早送りで移動します。
 - ・デジタル表示-2に"HR"が点灯し、時針の修正状態になります。
3. リゅうずを正転(時計回り)させると、プラスに修正できます。リゅうずを連続回転させると、連続修正できます。
4. ⑥ボタンを押すと、押すごとに"MIN"(分針)、"SEC"(秒針)と修正箇所が切り替わります。

5. 各修正箇所でリ्यूズを正転させ、各針を0位置に合わせてください。
逆転(反時計回り)させるとマイナスに修正できますが、正しく基準位置を合わせるために必ず正転で合わせてください。
- 24時間針は、時針に連動して修正されます。
 - UTC時針とUTC分針は、分針に連動して修正されます。
分針を連続運針して、UTC時針とUTC分針を0位置に合わせてください。
 - 秒針は、正転(時計回り)のみで修正できます。
6. 修正後は、リ्यूズを通常位置①に戻してください。
- 各針の0位置修正後は、時刻、カレンダーその他各モードを正しく合わせ直してからご使用ください。

注意

- 各針の運針中は、ボタンを操作しても反応しません。運針終了後、操作を行ってください。



6. 世界各都市の時刻またはカレンダーの呼び出し方

この時計にあらかじめ登録されている都市の時刻または、カレンダーをボタン操作で簡単に呼び出すことができます。

〈呼び出す方法〉

1. リ्यूズを回転させて、モード針を時刻[TME]または、カレンダー[CAL]モードに合わせます。
2. ⑥ボタンを押すと、押すごとにUP方向の都市の時刻または、カレンダーが表示されます。
3. ④ボタンを押すと、押すごとにDOWN方向の都市の時刻または、カレンダーが表示されます。
 - ・ ④、⑥ボタンとも押し続けると早送りします。

〈この時計にあらかじめ登録されている都市とUTCとの時差〉

(2011年7月現在)

時計での表示	都市名	時 差	サマータイム	時計での表示	都市名	時 差	サマータイム
UTC	協定世界時	± 0	—	TYO	東京	+9	×
LON	ロンドン	± 0	○	SYD	シドニー	+10	○
PAR	パリ	+1	○	NOU	ヌメア	+11	×
ROM	ローマ	+1	○	AKL	オークランド	+12	○
CAI	カイロ	+2	○	HNL	ホノルル	-10	×
IST	イスタンブール	+2	○	ANC	アンカレッジ	-9	○
MOW	モスクワ	+3	○	LAX	ロサンゼルス	-8	○
KWI	クウェート	+3	×	DEN	デンバー	-7	○
DXB	ドバイ	+4	×	CHI	シカゴ	-6	○
KHI	カラチ	+5	○	MEX	メキシコシティ	-6	○
DAC	ダッカ	+6	×	NYC	ニューヨーク	-5	○
BKK	バンコク	+7	×	YUL	モントリオール	-5	○
SIN	シンガポール	+8	×	CCS	カラカス	-4	×
HKG	香港	+8	×	RIO	リオデジャネイロ	-3	○
PEK	北京	+8	×	BUE	ブエノスアイレス	-3	×

* サマータイムの実施都市(地域)を○印、実施していない都市(地域)を×印で表しています。

* 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

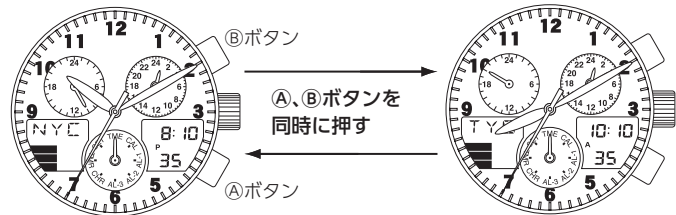
7. アナログ時刻とデジタル時刻の切り替え方

この時計の時刻修正はデジタル表示部で行いますので、アナログ時刻とデジタル時刻を切り替えることができます。

〈切り替え方法〉

1. リゅうずを通常位置①で左右どちらかに回転させて、モード針を時刻[TME]モードに合わせます。
2. ④、⑤ボタンを同時に押します。
3. 確認音が鳴り、アナログで表示している都市の時刻とデジタルで表示している都市の時刻が切り替わります。
 - ・ カレンダー[CAL]モードで④、⑤ボタンを同時に押すと、アナログ表示している都市のカレンダーと、デジタル表示している都市のカレンダーが切り替わります。(このとき時刻も切り替わります)

例) アナログが東京の時刻「午前10:10」、デジタルがニューヨークの時刻「午後8:10」を表示しているときに④、⑤ボタンを同時に押すと、アナログがニューヨークの時刻「午後8:10」に切り替わり、デジタルは東京の時刻「午前10:10」に切り替わります。



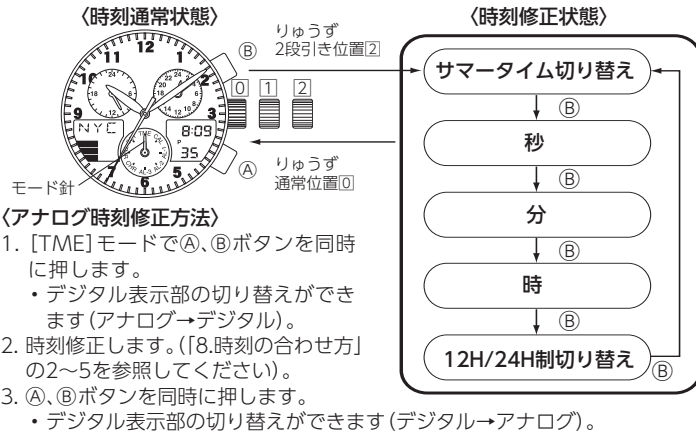
アナログ時刻: 午前10:10
(東京: TYO)
デジタル時刻: 午後 8:10
(ニューヨーク: NYC)

アナログ時刻: 午後 8:10
(ニューヨーク: NYC)
デジタル時刻: 午前10:10
(東京: TYO)

8. 時刻の合わせ方

アナログ時刻は、リ्यूず操作で修正することはできません。デジタル表示により修正します。

1. リ्यूーズを回転させて、モード針を時刻[TME]モードに合わせます。
2. ④または⑤ボタンを押して、修正する都市を選びます。
3. リ्यूーズを2段引き位置②(時刻合わせ位置)にすると、時刻修正状態になります。
4. ⑤ボタンを押すと、押すごとに修正箇所が切り替わります。修正する箇所を選択してください。(点滅しているところが修正可能箇所です)
 - ・「SMT」(サマータイム) 修正状態で④ボタンを押すと、サマータイムの設定(ON)解除(OFF)ができます。
 - ・「秒」の修正状態で④ボタンを押すと、「秒」が帰零します。
 - ・「時」または「分」の修正状態でリ्यूーズを正転(時計回り)すると、プラスに修正されます。リ्यूーズを連続回転させると、「時」または「分」が連続修正されます。逆転(反時計回り)するとマイナスに修正できますが、正しく時刻を合わせるために、必ず正転で合わせてください。
 - ・「12H/24H制」の切り替えは、④ボタンを押すごとに切り替わります。
5. 修正完了後は、リ्यूーズを通常位置①にもどしてください。



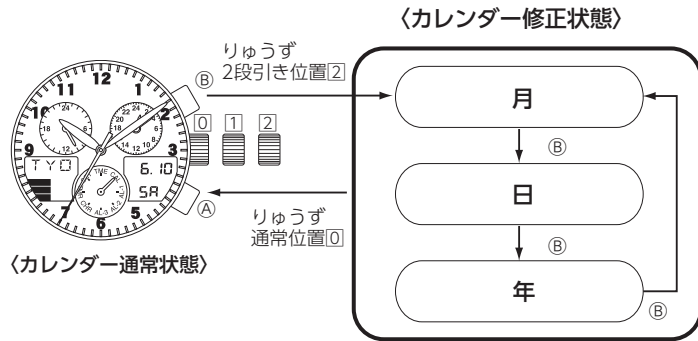
注意

- サマータイムの設定は、各都市ごとに設定ができます。
- いずれか1カ所の都市の時刻を合わせると、UTC時刻を含め他の都市の時刻も自動的に修正されます。
- 時刻の切り替わり中は、リ्यूーズやボタンは操作しても反応しません。時刻が切り替わったことを確認して、確実に操作してください。

9. カレンダーの合わせ方 (カレンダーはデジタル表示で修正します)

1. 通常位置①でリ्यूーズを回転させ、モード針をカレンダー[CAL]モードに合わせます。
2. ④または⑤ボタンを押して、修正する都市を呼び出します。
3. リ्यूーズを2段引き位置② (カレンダー合わせ位置) にすると、カレンダー修正状態になります。
4. ⑥ボタンを押すと、押すごとに修正箇所が切り替わります。修正する箇所を点滅表示させてください。
 - リ्यूーズを正転(時計回り)させると、プラスに修正できます。逆転(反時計回り)させると、マイナスに修正できます。リ्यूーズを連続回転させると早修正できます。

5. 修正完了後は、リ्यूズを通常位置①にもどしてください。



注意

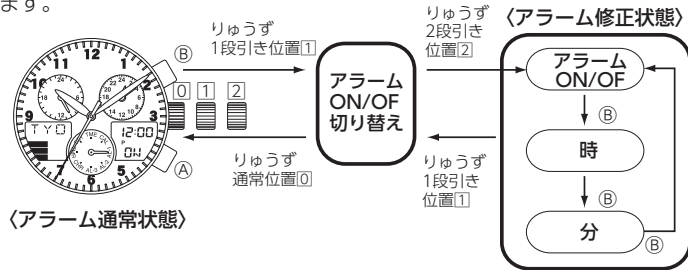
- いずれか1カ所の都市のカレンダーを合わせると、UTCを含め他の都市のカレンダーも自動的に修正されます。
- 「年」は西暦2000年から2099年までセットできます。
- 「曜」は、「年、月、日」を合わせると自動的に修正されます。
- オートカレンダーのため、月末の修正は不要です。
- 非存日(例えば、2月30日)に合わせた場合は、通常表示にもどすと自動的に翌日の1日を表示します。

10. アラームモードの使い方

アラーム1、2、3は鳴り音が異なるだけで、アラームセットなどの操作方法はすべて同じです。

アラームは1日1回セット時刻になると、アラーム音が15秒間鳴ります。

鳴っているアラーム音を止める場合は、①または②ボタンを押すと鳴り止みます。



〈アラーム時刻のセット方法〉

1. リゅうずを回転させて、モード針をアラーム1、2または3[AL-1、2または3]モードに合わせます。
2. ①または②ボタンを押して、セットする都市を呼び出します。
3. リゅうずを2段引き位置② (アラーム時刻合わせ位置) にすると、アラーム修正状態になります。
4. ③ボタンを押すと、押すごとに修正箇所が切り替わります。修正する箇所を点滅表示させてください。
 - ・「アラームON/OF」の修正状態で①ボタンを押すと、アラームの設定(ON)、解除(OFF)ができます。
 - ・「時」または「分」の修正状態でリゅうずを正転(時計回り)させると、プラスに修正できます。逆転(反時計回り)させると、マイナスに修正できます。
 - ・リゅうずを連続回転させると、早修正されます。
5. 修正完了後は、リゅうずを通常位置①にもどしてください。

注意

- 時刻モードが12時間制表示のときは、アラーム時刻も12時間制表示となります。
午前/午後に注意して、アラーム時刻をセットしてください。

〈アラームON/OF切り替え〉

アラーム修正状態以外にもりゅうずを1段引き位置①にすると、アラームのON/OFの切り替えができます。

1. アラームモードでりゅうずを1段引き位置①にすると、アラームON/OF切り替え状態になります。
2. ④ボタンを押すと、押すごとにアラームON/OFが切り替わります。
3. アラームON/OF設定後は、りゅうずを通常位置①にもどしてください。

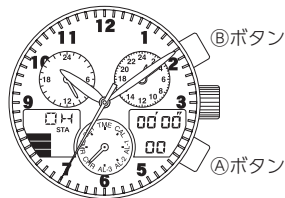
〈アラーム音モニター〉

アラーム通常状態で④、⑤ボタンを同時に押すと、押している間アラーム音が確認できます。

11. クロノグラフの使い方

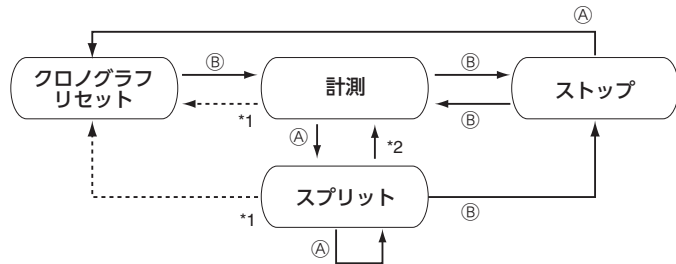
1/100秒単位で最大"23時間59分59秒99"まで計測表示できます。
24時間計測終了後は、自動的にクロノグラフリセット状態にもどります。

〈クロノグラフ通常状態〉



〈クロノグラフ計測〉

1. リュウズを回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. Bボタンを押すと、押すごとにスタート、ストップをくり返します。
3. クロノ計測中にAボタンを押すと、10秒間スプリットタイムを表示します。
 - ・スプリットタイム表示中は、"SPL"マークが点滅します。
4. ストップしているときにAボタンを押すと、クロノグラフリセット状態にもどります。

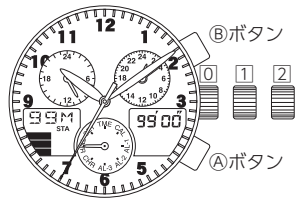


*1: 24時間計測後、オートリターン
*2: 10秒後、オートリターン

12. タイマーの使い方

タイマーは、1分単位で最大99分まで設定できます。計測終了後、約5秒間タイムアップ音が鳴り、タイマー初期設定状態にもどります。

〈タイマー初期設定状態〉

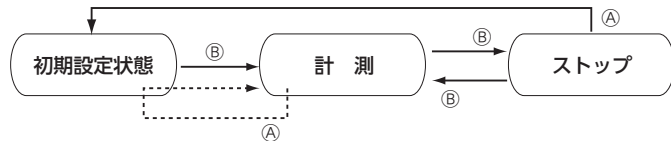


〈タイマーのセット方法〉

1. リゅうずを回転させて、モード針をタイマー[TMR]モードに合わせます。
2. リゅうずを2段引き位置②（タイマーセット位置）にすると、「分」の修正状態になります。
3. リゅうずを正転（時計回り）させると、プラスに修正できます。逆転（反時計回り）させると、マイナスに修正できます。
4. セット後は、リゅうずを通常位置①にもどしてください。

〈タイマーの使い方〉

1. ⑥ボタンを押すと、スタートします。
2. 計測中に⑥ボタンを押すと、ストップします。
3. 計測中に⑦ボタンを押すとタイマー初期設定状態にもどり、再び計測をスタートします。
4. タイマーストップ状態で⑦ボタンを押すと、タイマー初期設定状態にもどります。

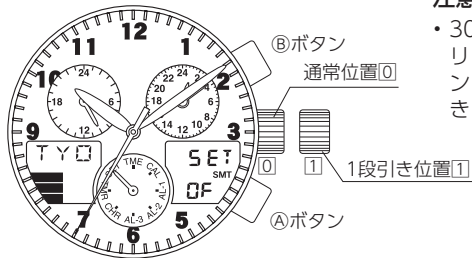


13. ゾーンセットの使い方

ゾーンセット機能は、"SET"を選択した都市だけが各モードで簡単に呼び出し、表示ができる機能です。各都市毎にサマータイムの設定もできます。また、お客様自身が任意に「都市と時差／1時間単位」を1カ所登録することができます。

注意

- ・ 30分の時差設定（オーストラリア中部、インド、ニューファンドランド／カナダ等）はできません。



〈ゾーンセットの仕方〉

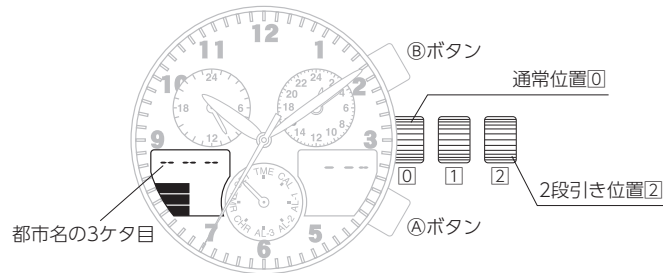
1. 通常位置⑦でリゅうずを回転させ、モード針をゾーンセット[SET]モードに合わせます。
2. リゅうずを1段引き位置⑧（都市SET/OFF、サマータイム切り替え位置）にすると、切り替え状態になります。
3. リゅうずを回転させて、セットする都市を呼び出してください。
 - ・ リゅうずを連続して回転させると、都市が早送りされます。
4. ⑧ボタンを押して都市のセット、⑨ボタンを押してサマータイムのセットをしてください。
5. セット後は、リゅうずを通常位置⑦にもどしてください。

〈セットした都市の確認方法〉

ゾーンセット[SET]モード(りゅうず通常位置①)で、①または②ボタンを押すと、押すごとに都市名とSETまたはOFFが表示されます。

- SETが表示されている都市のみ、各モードで呼び出しができます。

〈任意都市および時差を登録する方法〉



1. 通常位置①でりゅうずを回転させ、モード針をゾーンセット[SET]モードに合わせます。
2. りゅうずを2段引き位置②(都市設定位置)にすると、都市名の3ケタ目がフラッシングし、修正状態になります。

3. リ्यूズを回転させると、都市名の文字が表示されます。
リ्यूズを回転させ、3ケタ目にセットする都市の文字、1文字を表示させます。
 - ・リ्यूズを連続して回転させると、文字が早送りします。
4. 3ケタ目の文字をセット後、ⓑボタンを押すと、修正箇所が切り替わります。
2ケタ目と1ケタ目の文字をセットします。
5. 都市名1ケタ目の修正状態からⓑボタンを押すと、UTCからの時差設定状態になります。
6. リ्यूズを回転させて、時差を表示させてください。
 - ・時差設定は1時間単位です。30分の時差設定はできません。
7. 設定後は、リ्यूズを通常位置ⓐにもどしてください。

＜都市名に使用できる文字と記号＞

- ・アルファベット (AからZ)
- ・数字 (0から9)
- ・記号 (ー：ハイフンと ㊀：空白)

＜表示される順序＞

リ्यूズを正転(時計回り)させると、アルファベット (AからZ)、数字 (0から9)、記号 (㊀：空白とー：ハイフン)の順に表示されます。
リ्यूズを逆転(反時計回り)させると、正転の逆の順序で表示されます。

＜登録した都市の表示される順序＞

この時計にあらかじめ登録されている、30都市の中の時差が一致する場所の最初に表示されます。

ただし、登録した都市の時差が未設定の場合には表示されません。

＜登録した都市を解除する方法＞

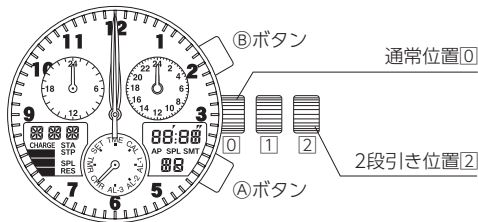
1. リューズを回転させて、モード針をゾーンセット[SET]モードに合わせます。
2. リューズを2段引き位置②(都市設定位置)にして、都市名の修正状態にします。
3. リューズを回転させて、登録した都市名の表示を(-- --)に変更します。
4. 登録解除後は、リューズを通常位置①にもどしてください。

14. オールリセットについて

静電気の影響や強い衝撃等により、時計が異常な表示や動作をしたとき(表示しない、アラームが鳴り続けるなど)は、次のオールリセット操作を行ってください。

オールリセットを行う際は十分充電し、充電量表示が点灯していることを確認してから行ってください。

〈オールリセットの方法〉



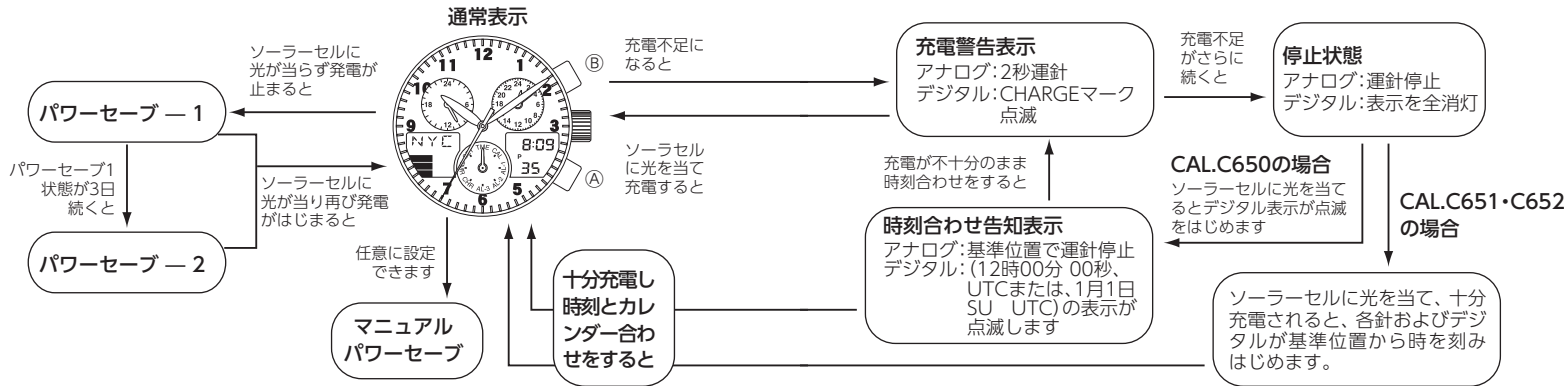
1. リ्यूズを回転させて、モード針をクロノグラフ[CHR]モードに合わせます。
2. リ्यूズを2段引き位置[2] (0 位置修正モード) にします。
 - ・秒針、分針、時針、24時間針、UTC時針、UTC分針が記憶している 0 位置へ早送りで移動します。

3. ⑧、⑨ボタンを同時に押した後、離します。
 - ・いずれかのボタンを離すと、デジタルの表示が全点灯します。
4. リ्यूズを通常位置[0]にもどすと、全点灯表示が解除されます。
 - ・解除後、確認音が鳴り、続いて「秒針→分針、UTC分針、UTC時針→時針、24時間針」の順でデモンストレーション運針を行い、オールリセットが終わったことをお知らせします。
 - ・デモンストレーション運針後、リ्यूズを2段引き位置[2]にし、時針基準位置設定状態に移行します。"5. 各針の 0 位置確認〈0 位置修正〉"を参照し、必ず「時針、分針、秒針、24時間針、UTC時分針」の 0 位置 (基準位置) 設定を行ってください。

注意

- ・各針の 0 位置 (基準位置) 設定後は、時刻、カレンダーその他各モードを正しく合わせ直してからご使用ください。

15. エコ・ドライブ(光発電)ウォッチ特有の機能について

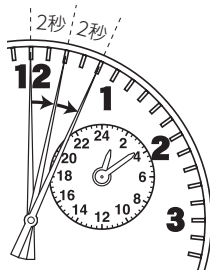


【充電警告機能】

■アナログ表示

時計がどの表示(モード)をしていても、充電不足になると時刻表示に切り替わり秒針が2秒運針を始めます。24時間針、時針、分針等は正しい時刻を刻み続けますが、充電警告表示が続き、二次電池の容量がなくなると時計は止まってしまいます。光を当てて充電し、元の1秒運針にもどしてください。

充電不足で停止した場合、光を当て十分充電した後、時刻合わせを行なってください。



2秒運針

■デジタル表示

すべてのモードでデジタル表示部-2に「CHARGE」が点滅表示します。

〈各モードでのデジタル表示〉

- ・カレンダー以外の各モードで、りゅうずの位置(1または2段引き位置)にかかわらず、時刻通常状態になります。
- ・カレンダーモードのときはりゅうずの位置にかかわらず、カレンダー通常状態になります。

注意

- ・各モードにおいて、りゅうず操作はモード切り替え(りゅうず0段位置)以外は機能しません。
- ・各モードにおいて、ボタン操作は都市名の切り替え操作(UP/DOWN)以外は機能しません。
- ・アラームは、セットされていてもアラーム音は鳴りません。
- ・クロノグラフは計測中でも計測を中止し、リセットされます。

- ・タイマーは、計測中でも計測をただちに中止します。
- ・充電不足で充電警告機能に移行した場合は、十分に光を当てても、通常状態にもどるまで最短で30分かかります。

〈充電警告機能が解除されると〉

光を当てて十分に充電し充電警告機能が解除されると、モード針が示しているモードに復帰します。

【時刻合わせ告知機能】（CAL. C650 のみ）

充電不足が約1.5日続くと時計が停止します。充電不足で停止した後、再び光を当て十分充電すると、次のように表示が切り替わります。

■アナログ表示

- ・各針は基準位置まで早送りされ停止します。時刻合わせが行われるまで、各針は停止したままです。

■デジタル表示

- ・時刻または、カレンダーモードで「12時00分00秒、UTCまたは、1月1日SU」の表示が点滅します。

〈時刻合わせ告知表示を解除する方法〉

1. 安心してご使用いただける状態／レベル2 (【充電量表示】を参照) まで十分充電してください。
2. モード針を時刻モードに合わせ、リ्यूズを2段引き位置②にし、時刻合わせを行なってください。時刻モードのみデジタルの点滅が解除されます。時刻修正後、リ्यूズを通常位置①にもどしてください。
3. モード針をカレンダーモードに合わせ、リ्यूズを2段引き位置②にし、カレンダー合わせを行なってください。カレンダーモードのデジタルの点滅が解除されます。
4. カレンダー修正後、リ्यूズを通常位置①にもどしてください。

注意

- ・時刻合わせ告知表示を解除する場合は、先に時刻合わせを行い、続いてカレンダー合わせを行わないと、解除されません。
- ・充電不足で停止した場合は、十分光を当てても時刻合わせ告知表示に切り替わるまで最短で30分かかります。

(CAL. C651・C652の場合)

- ・充電不足が約1.5日続くと時計が停止します。
- ・充電不足で停止した後、再びソーラーセルに光を当て、十分充電されると、基準位置(12時00分00秒、UTCまたは、1月1日SU UTC)から各針が運針をはじめ、同時にデジタルも時を刻みはじめます。
- ・時刻がずれているので、時刻、カレンダー、その他各モードを正しく合わせ直してください。

【過充電防止機能】

文字板(ソーラーセル面)に光が当たり、二次電池がフル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。

そのため、どんなに充電してもソーラーセルや二次電池等の性能が劣化することはありません。安心して光を当てて充電してください。

【パワーセーブ ー 1】

CAL. C650の場合	CAL. C651・C652の場合
<ul style="list-style-type: none">ソーラーセルに光が当らず発電が行われないと、秒針が0秒位置にきたときに秒針が停止し、自動的に二次電池の消費を抑えるパワーセーブ状態になります。	<ul style="list-style-type: none">ソーラーセルに光が当らず、発電が行われない状態が30分継続すると、パワーセーブ状態になります。
<div>■アナログ表示<ul style="list-style-type: none">秒針が基準位置(12時)で停止します。その他の針は、正しい時刻を刻み続けます。</div> <div>■デジタル表示<ul style="list-style-type: none">アナログの秒針が0秒位置で停止するのに合わせて、デジタル表示がすべて消灯します。ただし、アラーム、クロノグラフなどは表示が消えても、時計内部で計測を続けています。</div>	

〈パワーセーブ — 1を解除する方法〉

ソーラーセルに光が当たり再び発電が始まると、パワーセーブ — 1が解除されます。

- ・秒針が現在時刻まで早送りで送られ、1秒運針をはじめます。
- ・デジタルは発電が始まると同時に、現在時刻から時を刻みはじめます。

注意

- ・二次電池がフル充電され過充電防止機能が働いている間は、ソーラーセルに光が当らず発電が行われなくても、パワーセーブ機能は作動しません。また、急激な光が当たり、一時的にフル充電になった場合も同様に、パワーセーブ機能は作動しません。

【パワーセーブ — 2】

CAL. C650の場合	CAL. C651・C652の場合
・パワーセーブ — 1の状態が3日間継続すると、パワーセーブ—2に移行します。	・パワーセーブ — 1の状態が7日間継続すると、パワーセーブ—2に移行します。

■アナログ表示

- ・24H針、時針、分針、秒針、UTC分針は基準位置(12時)で停止します。
- ・UTC時針はその場で運針を停止します。

■デジタル表示

- ・デジタル表示は、パワーセーブ — 1から継続してすべて消灯を続けます。

注意

- ・各モードにおいて、リ्यूずおよびボタン操作は機能しません。
- ・アラームはセットされていてもアラーム音は鳴りません。
- ・タイマーモードのタイムアップ音も鳴りません。

〈パワーセーブ — 2を解除する方法〉

パワーセーブ — 1と同様に、ソーラーセルに光が当たり再び発電が始まると、パワーセーブ — 2が解除されます。

- 各針は現在時刻まで早送りで送られ、運針をはじめます。
- デジタルは発電が始まると同時に、現在時刻から時を刻みはじめます。ただし、クロノグラフはリセット状態になり、タイマーは初期設定状態に移行します。

【マニュアルパワーセーブ】

時計を長期間ご使用にならない場合は、十分充電(二次電池充電量のレベル3が表示するまで)してからマニュアルパワーセーブを働かせると、より長く保存することができます。

- マニュアルパワーセーブが作動している状態では、充電をしないでください。充電を行なう場合は、マニュアルパワーセーブを解除してから行なってください。

〈マニュアルパワーセーブの設定方法〉

- “13.ゾーンセットの使い方——〈任意都市および時差を登録する方法〉”で都市名を「C65」、時差を「0」と設定し、リ्यूずを通常位置④にもどすと、マニュアルパワーセーブ機能が作動します。

■アナログ表示

- 各針は、その場で運針を停止します。

■デジタル表示

- デジタル表示は、すべて消灯します。

注意

- 各モードにおいて、ボタン操作は機能しません。
- リ्यूずを回転させてモード針を動かしても、モードは切り替わりません。

〈マニュアルパワーセーブを解除する方法〉

りゅうずを2段引き位置②にすると、各針が現在時刻まで早送りで送られ、マニュアルパワーセーブが解除されます。



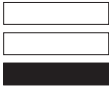
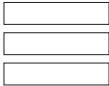
マニュアルパワーセーブ解除後は、りゅうずを通常位置①にもどしてご使用ください。

- 各針は現在時刻まで早送りで送られ、運針をはじめます。
- デジタルは、発電がはじまると同時に表示を再開します。アラームはセットされた時間に鳴ります。ただし、クロノグラフはリセット状態になり、タイマーは初期設定状態に移行します。

【充電量表示】

二次電池にどのくらい充電されているかを、デジタル表示 — 2にグラフィックで簡易表示します。充電の目安としてお使いください。

〈二次電池充電量の見方〉

レベル3	レベル2	レベル1	レベル0
			
十分充電されている状態（フル充電になるとレベル3になりますがその後すぐにレベル2に移行します）	安心してご使用いただける状態（通常ご使用するレベル）	そろそろなくなる状態（ソーラーセルに光を当ててレベル2または3になるまで充電してください）	ほとんど充電量なし（充電警告が作動し秒針が2秒毎に運針します。レベル2または3になるまで充電してください）

注意

レベル0 (グラフィック表示がすべて消えた状態) になると、二次電池の容量がほとんどなく、秒針が2秒毎に運針をはじめます。約1.5日経過すると、充電不足で時計が停止します。充電時間の目安を参照し、レベル2 または 3 になるまで光を当てて十分充電してください。

16. 充電時間の目安

時計のモデル (文字板色など) によって、充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。

〈CAL. C650・C651・C652〉

* 充電時間は連続照射時間です。

照度 (ルクス)	環 境	充電時間 (約)		
		1 日分の 充電時間	停止状態から 1秒運針までの 充電時間	停止状態から フル充電までの 充電時間
500	屋内照明	2.5～3時間	12～15時間	——
3,000	30W蛍光灯の20cm下	20～30分	2.5～3時間	29～60時間
10,000～100,000	屋外 (晴天、曇天)	3～9分	40分～1.5時間	5～17時間

フル充電時間……時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間

1日分の充電時間……時計が1秒運針で1日動かすのに必要な時間

17. ソーラーパワーウォッチ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温(約60℃以上)での充電は避けてください。
例)・ 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
※ 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- ・ 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



〈二次電池の交換について〉

- ・ この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除(有料)をおすすめします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- ・ お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

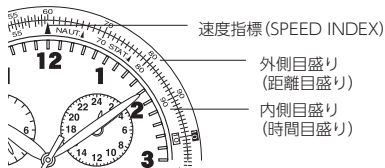
- ・ この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

18. レジスターリングの使い方

モデルによっては、ベゼルのデザインが異なるものがあります。

【計算機能】

この機能を使うときには次の点に注意してください。この時計の計算機能は一つの指針としてのみお使いください。このスケールでは、位取りまではできません。



A. 航法計算

1) 所要時間

例: ある飛行機が180ノットで450海里飛行するのに必要な時間は?

答: 外側目盛りの「18」を内側目盛りのSPEED INDEX (▲) に合わせます。そうすると、外側目盛りの「45」が内側目盛り (時間目盛り) の「2:30」に一致します。したがって、飛行に必要な時間は2時間30分になります。

2) ノット数 (飛行速度)

例: 240海里を1時間20分の飛行時間で飛んだときのノット数 (飛行速度) は?

答: 外側目盛りの「24」を内側目盛り (時間目盛り) の「1:20」に合わせます。そうすると、内側目盛りのSPEED INDEX (▲) が外側目盛りの「18」に一致します。したがって、この時の飛行速度は180ノットになります。

3) 飛行距離

例: 飛行速度が210ノットで飛行時間が40分であるときの飛行距離は?

答: 外側目盛りの「21」を内側目盛りのSPEED INDEX (▲) に合わせます。そうすると、内側目盛りの「40」が外側目盛りの「14」に一致します。したがって、この時の飛行距離は140海里になります。

4) 燃料消費率

例:飛行時間が30分で燃料消費量が120ガロンであるときの燃料消費率(ガロン/時)は？

答:外側目盛りの「12」を内側目盛りの「30」に合わせます。そうすると、内側目盛りのSPEED INDEX (▲) が外側目盛りの「24」に一致します。したがって、燃料消費率は毎時240ガロンになります。

5) 燃料消費量

例:燃料消費率が毎時250ガロンで飛行時間が6時間であるときの、飛行に必要な燃料消費量は？

答:外側目盛りの「25」を、内側目盛りのSPEED INDEX (▲) に合わせます。そうすると、内側目盛り(時間目盛り)の「6:00」が外側目盛りの「15」に一致します。したがって、燃料消費量は1,500ガロンになります。

6) 飛行可能時間

例:燃料消費率が1時間あたり220ガロンで飛行機が550ガロンの燃料を積んでいるときの、飛行可能時間は？

答:外側目盛りの「22」を内側目盛りのSPEED INDEX (▲) に合わせます。そうすると、外側目盛りの「55」が内側目盛り(時間目盛り)の「2:30」に一致します。したがって、飛行可能時間は2時間30分になります。

7) 高度差

高度差は、降下率と降下時間から求められます。

例:ある飛行機が毎分250フィートの速さで23分間降下し続けたときの高度差は？

答:外側目盛りの「25」を内側目盛りの「10」に合わせます。そうすると、内側目盛りの「23」が外側目盛りの「57.5」に一致します。したがって、高度差は5,750フィートになります。

8) 上昇率(降下率)

上昇率(降下率)は、ある高度に達するために必要な時間から求められます。

例:ある飛行機が高度7,500フィートまで16分間の上昇後に到達したときの上昇率は？

答:外側目盛りの「75」を内側目盛りの「16」に合わせます。そうすると、内側目盛りの「10」が外側目盛りの「47」に一致します。したがって、上昇率は470フィートになります。

9) 上昇時間(降下時間)

上昇に必要な時間は、到達すべき高度と上昇率(降下率)から求められます。

例:ある飛行機が毎分550フィートの速さで6,300フィートまで上昇するときの上昇時間は？

答:外側目盛りの「55」を内側目盛りの「10」に合わせます。そうすると、外側目盛りの「63」が内側目盛りの「11.5」に一致します。したがって、上昇時間は11分30秒になります。

10) 変換

例:30法定マイルを海里およびキロメートルに変換するには？

答:外側目盛りの「30」を内側目盛りのSTAT (▲) に合わせます。そうすると、内側目盛りのNAUT (▲) が外側目盛りの「26」海里に一致し、内側目盛りの「12 km」(s) が外側目盛りの「48.2km」に一致します。

B. 一般的計算機能

1) 掛け算

例: 20×15

演算: 外側目盛りの「20」を内側目盛りの「10」に合わせます。そうすると、内側目盛りの「15」が外側目盛りの「30」に一致します。小数点の位置を考慮に入れてゼロを1個追加し、300を得ます。この時計の目盛りでは小数点の位置が得られないことに注意してください。

2) 割り算

例: $250 / 20$

演算: 外側目盛りの「25」を内側目盛りの「20」に合わせます。そうすると、内側目盛りの「10」が外側目盛りの「12.5」に一致します。小数点の位置を考慮に入れて12.5を得ます。

3) 比例算

例: $30/20 = 60/x$

演算: 外側目盛りの「30」を内側目盛りの「20」に合わせます。そうすると、外側目盛りの「60」が内側目盛りの「40」に一致します。この時点で、内側および外側目盛りのどの値についても、比が30対20になっています。

4) 平方根

例: 225の平方根

演算: 外側目盛りをゆっくり回して、外側目盛りの「22.5」と内側目盛りの「10」の両方に一致する値を見つけます。この例では、外側目盛りの「22.5」が内側目盛りの「15」に一致し、内側目盛りの「10」が外側目盛りの「15」に一致します。したがって、答えは15になります。






19. お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- ・日常生活用強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキndaイビング)やスキューバ潜水などには使用できません。
- ・日常生活用強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名 称	表 示	仕 様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	—	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

- ・時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
(1barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) × × barはW.R. × × barと表示している場合があります。

使用例				
				
水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や一般水泳に使用。	スキndaイビング、マリンスポーツに使用。	空気ポンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量に汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ) また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

＜温度について＞

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

＜静電気について＞

- クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜磁気について＞

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含むもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

注意 時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

〈夜光付き時計の場合は〉

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間などによって発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

20. 保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検(有償)について＞

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度、点検(有償)を行なってください。防水時計の防水性能は経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行なってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行なう必要がある場合もありますので交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

21. 製品仕様

1. 機種 : C650 / C651 / C652
2. 型式 : コンビネーションソーラーパワーウォッチ
3. 時間精度 : 平均月差±15秒(常温+5℃～+35℃携帯時)
4. 作動温度範囲 : 時計の作動温度範囲: 0℃～+55℃
5. 表示機能:
- | | |
|------|--|
| アナログ | • 時刻: 秒、分、時、24時、UTC分、UTC時、モード |
| デジタル | • 時刻: 秒、分、時、都市名、サマータイム、A/P |
| | • カレンダー: 月、日、曜、都市名 |
| | • アラーム1: 時、分、A/P、都市名、ON/OFF |
| | • アラーム2: 時、分、A/P、都市名、ON/OFF |
| | • アラーム3: 時、分、A/P、都市名、ON/OFF |
| | • クロノグラフ: クロノ時、クロノ分、クロノ秒、クロノ1/100秒、
スプリット計測、24時間計測、自動停止機能 |
| | • タイマー: タイマー残分、タイマー残秒、設定分
(タイマー設定範囲99分から1分まで、1分単位) |
| | • ゾーンセット: 都市ごとの表示/表示解除設定
都市ごとのサマータイムON/OF設定 |

6. 付加機能:
- メイン時刻(アナログ)とサブ時刻(デジタル)入れ替え機能
 - パワーセーブ — 1: 秒針の運針とデジタル表示を自動的に停止します
 - パワーセーブ — 2: 時計機能が自動的に停止します
 - マニュアルパワーセーブ: 時計機能を任意(強制的)に停止できます
 - 充電量表示: 二次電池の充電量を目安表示します
 - 充電警告表示機能
 - 時刻合わせ告知機能(CAL. C650のみ)
 - 過充電防止機能
7. 持続時間:
- フル充電から停止するまで: 約4年(パワーセーブ — 2作動時)
- 2秒運針開始から停止するまで: 約1.5日
8. 使用電池: 二次電池(ボタン型リチウム電池) 1個

* 仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。